

安全・安心の医療・介護実現のため医師・看護師等の大幅な増員
と労働環境の改善を求める意見書の提出について

安全・安心の医療・介護実現のため医師・看護師等の大幅な増員と労働環境
の改善を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

平成30年12月18日提出

提出者	秦野市議会議員	横山	むらさき
賛成者	同	大野	祐司
同	同	古木	勝久
同	同	川口	薫
同	同	佐藤	文昭
同	同	横溝	泰世
同	同	風間	正子
同	同	村上	茂

提案理由

医療・社会保障予算の増額及び医師・看護師等の大幅な増員により、労働環境の改善を図り、安全・安心で行き届いた医療・介護を実現する必要があるため、国に意見書を提出するものであります。

安全・安心の医療・介護実現のため医師・看護師等の大幅な増員
と労働環境の改善を求める意見書

国は、平成23年6月17日付けの厚生労働省通知「看護師等の『雇用の質』の向上のための取組について」及び平成25年2月8日付けの厚生労働省通知「医療分野の『雇用の質』の向上のための取組について」により、医療従事者に対する労働環境の改善などの取り組みを促進している。

また、平成26年10月に施行された改正医療法では、勤務環境改善に向けた各医療機関の取り組みを支援するよう都道府県に求めている。

しかし、看護師等の労働環境は改善されていないため、具体的な労働環境の改善を可能にする増員計画を作成し、看護師等確保策を講じていくことが重要である。

また、国は、医療と介護の連携を強化し、より効果的・効率的な医療・介護サービスの実現を図るため、医療・介護サービス提供体制の改善を進めているが、労働環境の改善と医師・看護師等の大幅増員を優先して進める必要がある。

したがって、国においては、安全・安心で行き届いた医療・介護の実現のため、医師、看護師、医療技術者、介護職員の大増員について、具体的措置を講じるよう要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月18日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 様
財務大臣
厚生労働大臣

秦野市議会議長 阿蘇 佳一